

# 日本マイクロモビリティ協会 安全対策について

2026.1

# 目次

## 1 2025年10月以降の協会、各社の安全対策の取組

(1) 交通ルールの周知徹底

(2) 飲酒運転対策

(3) ヘルメット着用対策

## 2 ヘルメット着用率向上に向けたアンケート調査の結果概要

# 1. 2025年10月以降の協会、各社の安全対策の取組

## (1) 交通ルールへの周知徹底

若年層向けを含む、幅広い世代を対象にした試乗会の実施や交通安全啓発イベントへの出展。  
 利用者の多い大都市圏や学生を対象とした安全講習会の実施。  
 誤進入防止のための走行禁止エリア(ジオフェンシング)の拡充。  
 「交通違反点数制度」の運用強化。

### 【自治体連携、イベント、試乗会、講習会等】

- 自治体等と連携した安全・快適な移動環境の整備を目的とする「Shibuya Safe Ride Project」の発足 (Luup 12月) **【新規】**
- GRAND CYCLE TOKYO (交通安全啓発イベント) への出展 (協会、各社 12月) **【拡充】**
- 自治体や警察、教育機関等と連携した様々な場所での安全講習会
  - 自治会・商店会
  - 学校 (高校、大学)
 (協会加盟各社が実施) **【拡充】**
- 交通ルールのレクチャーを含む試乗会 (Luup 25年10月、OS 25年11月) **【拡充】**



「Shibuya Safe Ride Project」  
啓発広告 (12月、東京都)



GRAND CYCLE TOKYO への出展  
(12月、東京都)



大学での安全講習会  
(12月、大阪府)



試乗会実施状況  
(11月、埼玉県)

# 1. 2025年10月以降の協会、各社の安全対策の取組

## (1) 交通ルールへの周知徹底

### 【誤進入防止のための走行禁止エリア(ジオフェンシング)の拡充】

- ハロウインの混雑時における走行できないエリアに入った場合の出力ゼロ化  
(Lime 25年10月)【拡充】
- 警視庁・首都高と連携した、位置情報による高速道路進入・規制エリア走行の強制防止  
(Lime 25年11～12月)【拡充】



首都高速道路におけるジオフェンシング機能の実証状況(11月)

### 【「交通違反点数制度」に関する安全対策強化】

- 利用規約・プライバシーポリシーを改定し、交通違反情報の警察からの受領について、明示的な同意を利用者から取得し、従来より実施してきた「交通違反点数制度」の運用を強化  
(Luup 25年11月～)【拡充】



走行禁止エリア(赤枠)

# 1. 2025年10月以降の協会、各社の安全対策の取組

## (1) 交通ルールへの周知徹底

### 代表的な取組内容

#### Shibuya Safe Ride Project (Luup社)

##### 【概要】

- 官民連携して渋谷区の**安全な移動文化を創出するための中長期プロジェクト**として12月に発足
- 第一弾として、人出と飲酒機会の増える12月に交通ルール遵守と飲酒運転撲滅を強力に推進

##### 【直近の取組内容】

#### 1. 飲酒運転対策の徹底

- 複数ポートでの乗車前の**アルコールチェッカー**を用いた検知
- 飲酒後の利用が不可であることを直接指導

#### 2. 安全・飲酒運転撲滅啓発

- アプリ内での**反応テスト**の実施
- 街頭広告やSNS等、オンライン・オフライン両面でのルールの周知

#### 3. ヘルメット着用啓発

- ポート付近での**ヘルメットの有人貸出**の実施

#### 警視庁・首都高と連携した誤進入防止 (Lime社)

##### 【概要】

- 特定小型原付による首都高速への誤進入が急増
- **ジオフェンシング機能**により**高速道路進入を阻止**することで、「高速道路は走行禁止」というルールを周知・徹底

##### 【取組内容】

#### 1. ジオフェンシング (GPSを用いた制御) の拡充

- 都内の首都高速出入口計**39か所**を走行禁止エリアに設定
- 車両が入口に近づくと**安全に停止**し、違反を未然に防止
- 11月に警視庁・首都高の協力のもと、実際の料金所付近で**実証実験**を実施。効果を確認。

#### 2. 「走行できない場所」の周知

- アプリ上のマップで「**走行禁止エリア**」を赤く表示するとともに、走行禁止エリアに入ると音で周知。

# 1. 2025年10月以降の協会、各社の安全対策の取組

## (2) 飲酒運転対策

地域と連携したアートボードの設置や繁華街ポートへの「飲酒運転禁止」看板設置。  
 アプリ内啓発やSNSを活用した飲酒運転禁止の周知。  
 夜間巡回・ポート監視による飲酒運転防止の呼びかけ。  
 ポートにおけるアルコール検知や反応テストの実施。

### 【各種媒体による周知】

- アプリやSNS(XやInstagram、ノート等)での飲酒運転の禁止、危険性の継続的な周知  
 (協会加盟各社が実施)【**拡充**】
- 地域と連携したアートボードの設置  
 (Luup 11月)【**新規**】
- 都内80箇所以上の繁華街ポートへの看板設置  
 (Luup 12月)【**新規**】



SNSでの飲酒運転禁止広告



都内各所の看板設置状況



アートボードの設置  
 (11月、東京都下北沢)

# 1. 2025年10月以降の協会、各社の安全対策の取組

## (2) 飲酒運転対策

### 【夜間巡回、ポートにおけるアルコール検知や反応テストの実施】

- 警備員等による繁華街での夜間巡回強化  
(Lime, Luup 主に12月)【**拡充**】
- 繁華街ポートにおけるアプリ内での反応テストの実施  
(Luup 12月)【**新規**】
- アルコール検知器を活用した乗車前の飲酒検知を検証  
(Luup 12月)【**拡充**】

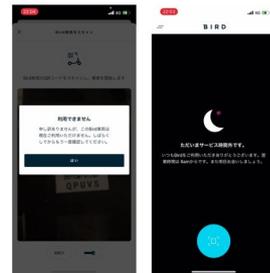
### 【深夜、イベント時の提供停止】

- ハロウィン時など、場所に応じてサービス提供を停止  
(BRJ 常時, Lime, Luup 10月)【**拡充**】



アルコール反応テスト

### - 安全・安心を高めるため深夜営業を停止



深夜の飲酒運転や交通事故を抑制するため深夜営業を停止

安全性を確認しながら徐々に営業時間を拡大

- 【パターン①】 22:00～6:00を停止
- 【パターン②】 24:00～4:00を停止



繁華街での夜間巡回

# 1. 2025年10月以降の協会、各社の安全対策の取組

## (2) 飲酒運転対策

### 代表的な取組内容

#### 夜間巡回とIT制御のハイブリッド運用( Lime社)

##### 【実施時間・場所】

- 実施時間: **23:00~翌5:00**(忘年会シーズン)
- 対象エリア: 渋谷区内の繁華街ポート周辺

##### 【概要】

#### 1. 専門スタッフによる巡回(人的対応)

- **飲酒運転の抑止**: 乗車前の利用者への声掛けを行い、飲酒の有無を確認
- **安全啓発**: 現場でのリアルタイムな注意喚起により、迷惑運転を防止
- **安心感の醸成**: 「人の目」があることで、地域住民や商店街の安心を確保

#### 2. ジオフェンシングによるリスク軽減(IT対応)

- **密集地の進入遮断**: 酔客や歩行者が多い「**渋谷センター街**」等をシステム上で**進入禁止に設定**
- **強制的な安全確保**: 万が一走行しても、エリアに入ると安全に停止し、事故等を未然に防止

#### アプリ内での反応テストの実施( Luup社)

##### 【実施時間・場所】

- 実施時間: **深夜帯**
- 対象エリア: 渋谷区内の繁華街エリアのポート

##### 【概要】

- 対象ポートからライドを開始する際に、反応速度を測るテストを必須化
- **テストを完了するまでライドを開始できない仕様**



# 1. 2025年10月以降の協会、各社の安全対策の取組

## (3) ヘルメット着用対策

ヘルメット着用の効果を理解してもらえるよう各種啓発活動を継続。  
ヘルメット着用率向上にむけたアンケート調査を実施。  
ヘルメットを実際に使う機会を増やすため有人貸出を実施。

### 【各種啓発】

- SNS上での着用促進の継続的な啓発  
(協会加盟各社)【**拡充**】

### 【警視庁と連携した啓発活動】

- 警察や自治体によるイベントへの継続的な参画  
(協会加盟各社)【**拡充**】

### 【アンケート調査の実施】

- ヘルメット着用率が低い要因を探り今後の対策を検討するためのアンケート調査を実施  
(協会 12月)【**新規**】



出典:警察庁ウェブサイト

啓発に用いた警察庁資料

### 「特定小型原動機付自転車のヘルメット着用」に関するアンケート

特定小型原動機付自転車の運転者のヘルメット着用促進のため、御協力をお願いします。

- アンケートへ名前などの御記入は不要です。
- アンケートの結果は特定小型原動機付自転車の交通ルール・交通安全対策に関する検討や充実の目的以外の目的で使用することはありません。
- 御回答いただいた内容は統計的に処理し、個人が特定できる形で公表することはありません。

問1. あなたの年齢はおいくつですか。(半角数字を入力してください。)\*

# 1. 2025年10月以降の協会、各社の安全対策の取組

## (3) ヘルメット着用対策

### 【着用インセンティブの付与】

- ヘルメット着用者の自撮り機能による利用料割引  
(Lime 常時)【**拡充**】

### 【貸出(有人・無人)】

- 都内の施設での有人貸出  
(Luup 11~12月)【**新規**】
- ポートへのボックス設置による無人貸出を継続実施  
(BRJ 常時)【**拡充**】



### 【Helmet Selfie】

ヘルメット着用が確認できた場合  
都度の通常料金から10%割引

ヘルメット着用による利用料割引



ヘルメットの貸出し(無人)

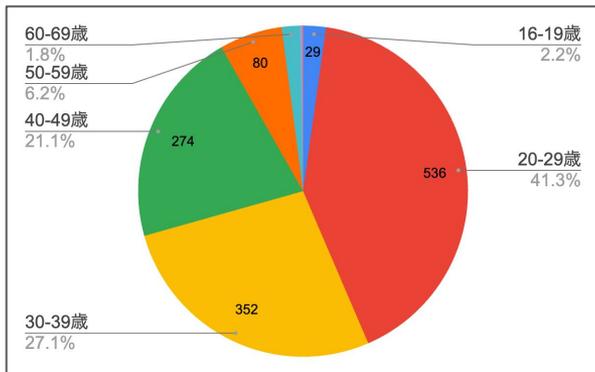


ヘルメットの貸出し(有人)

## 2. ヘルメット着用率向上に向けたアンケート調査の結果概要(1)

2025.12.6 - 12.19にかけて、協議会加盟各社の特定小型のシェアリングサービス登録ユーザーを対象としたWebアンケートを実施。1298名のユーザーから回答を回収。

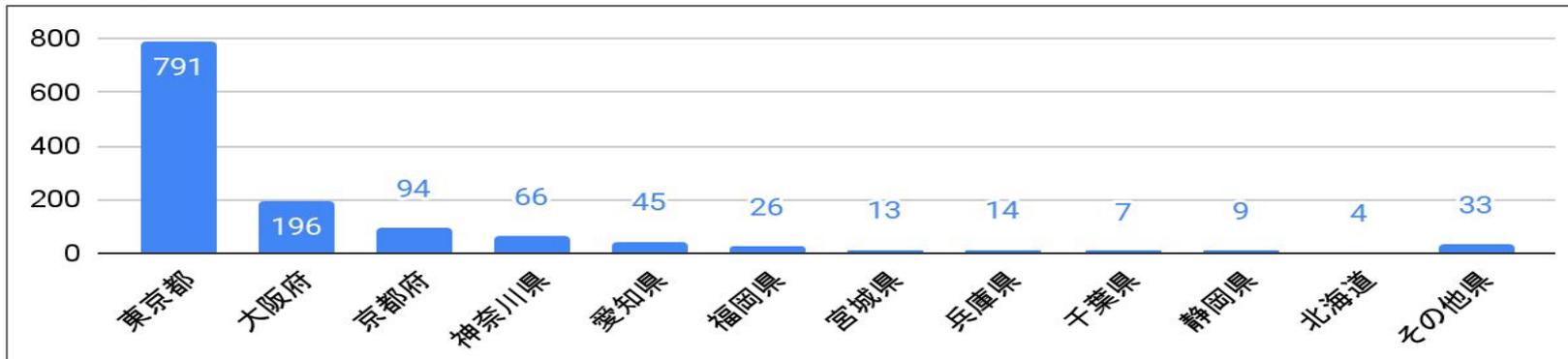
年齢層 n=1298



ジェンダー n=1298

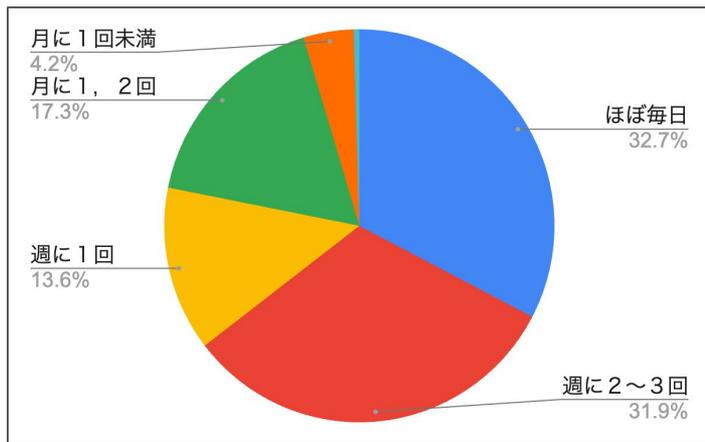
男性	904
女性	362
その他,無回答	32
合計	1298

都道府県別回答者数 n=1298

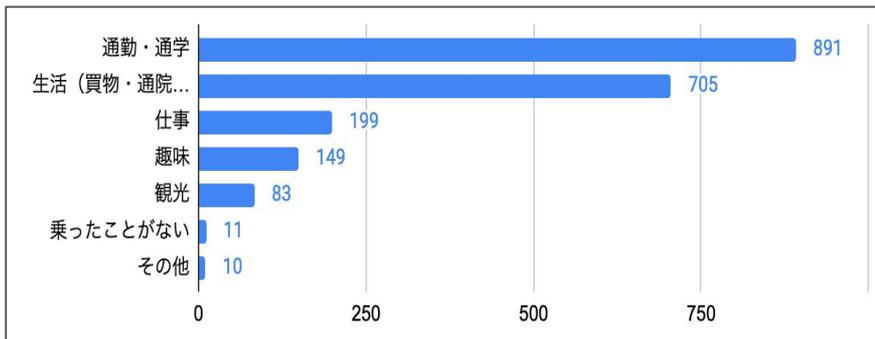


## 2. ヘルメット着用率向上に向けたアンケート調査の結果概要(2)

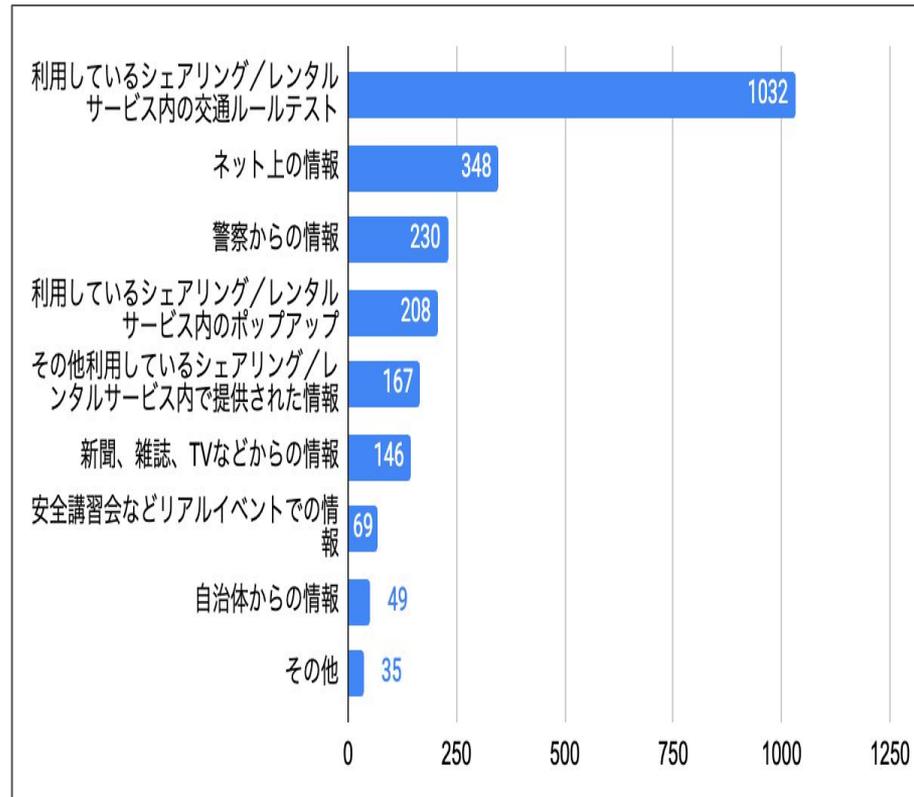
利用頻度 n=1298



利用頻度 複数回答 n=2048

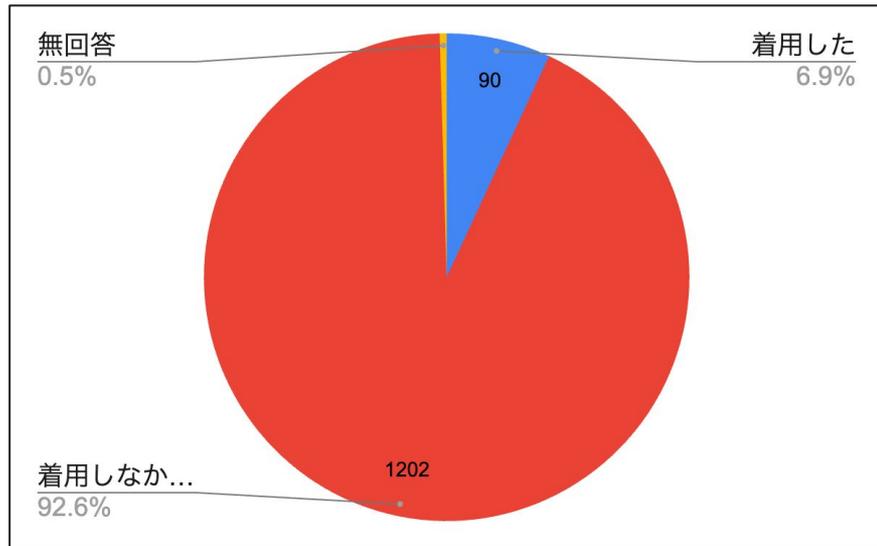


交通ルールの情報収集源 複数回答 n=2720

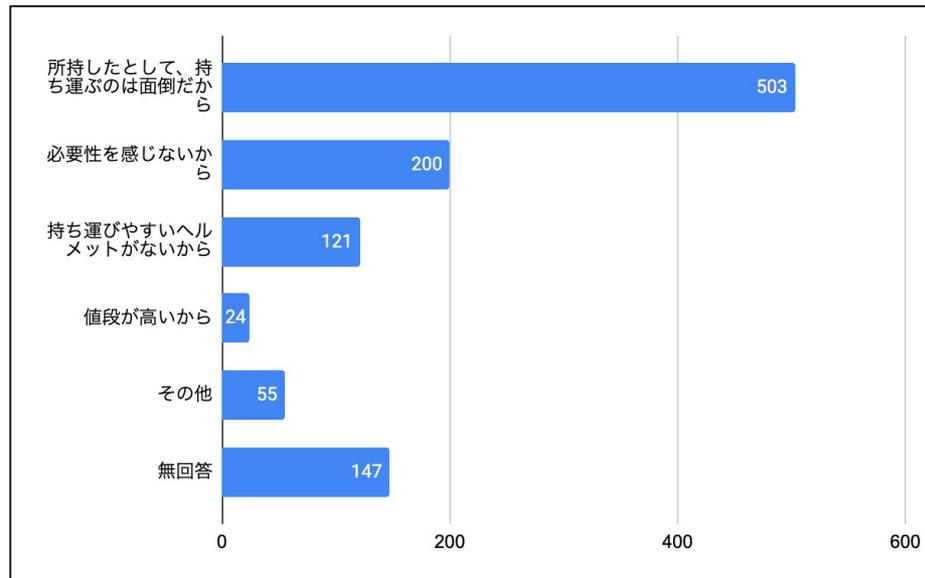


## 2. ヘルメット着用率向上に向けたアンケート調査の結果概要 (3)

直近のシェア特定小型利用でのヘルメット着用の有無  
n=1298

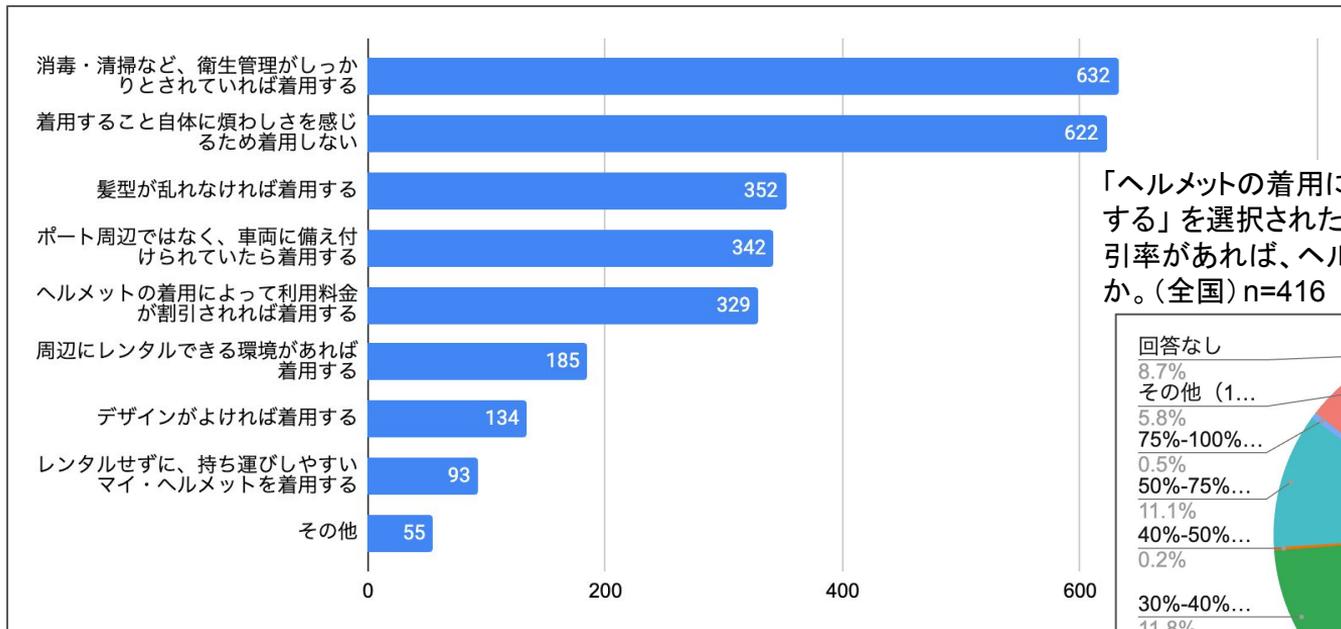


ヘルメットを持っていない人で、保有しない理由 n=1050



## 2. ヘルメット着用率向上に向けたアンケート調査の結果概要（4）

特定小型原動機付自転車自転車をシェアリング／レンタルで利用する際、ポート周辺でヘルメットを無償でレンタルできるとします。その場合のご自身の考えとして最も当てはまるものを教えて下さい。(全国)(複数回答可)n=2744



「ヘルメットの着用によって利用料金が割引されれば着用する」を選択された方への質問です)具体的に、何%の割引率があれば、ヘルメットをレンタル／持参して着用しますか。(全国)n=416

